RM105

取扱説明書



2005 年 4 月版

■安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の人々への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守り下さい。また、お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してください。

●注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

⚠警告	この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると､死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると､傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

⚠ 警告

- コンソール及び電源ユニットは、機器の重量に耐える強度を持った安定した場所に設置してください。バランスが崩れて落下すると、けがの原因となります。
- 必ず専用の電源ユニットを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり大変危険です。
- AC100V、50Hz/60Hz の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- 雷が鳴り出したら電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。
- 煙がでる、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常がある時は、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼して下さい。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

- コンソール及び電源ユニットを移動する際は、背中や腰を痛めないように、重量に十分注意してください。必要に応じて、何人かで協力して作業を行って下さい。
- 万一、落としたり破損が生じた場合は、そのまま使用せずに修理を依頼して下さい。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- 以下のような場所には設置しないでください。

  直射日光の当たる場所 / 極度の低温又は高温の場所 / 湿気の多い場所 /

  ほこりの多い場所 / 振動の多い場所 / 風通しの悪い場所
- 配線は電源を切ってから行って下さい。電源を入れたまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- 電源を入れる前や音声ケーブルの接続時には、各ボリュームを最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因になることがあります。
- ヒューズ及びモジュールを交換する際は、専任のサービス要員にお問い合わせ下さい。正しく取り付けられていないと感電や火災の原因となります。
- ご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 廃棄は専門業者に依頼して下さい。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。

■使用上のご注意

●取り扱いおよび移動について

コンソール及び電源ユニットは堅牢に仕上げられておりますが、次の事を注意していただく事により、性能・耐久性をより長く維持する事ができます。

- 正しい内寸に作られた頑丈なフライト・ケースに入れて移動してください。
- フライト・ケースから出して移動する場合は、各ツマミやコネクタ部に衝撃を与えないように十分注意してください。
- 全ての配線を取り外してから、移動してください。
- コンソール及び電源ユニットの外装を、ベンジンやシンナーなどでふかないでください。変質や塗料がはげる原因になることがあります。外装のお手入れには、乾いた柔らかい布をご使用下さい。

●設置について

- 高電圧送電ケーブル、ブラウン管、テープ・レコーダ等の強電磁界付近への設置は避けてください。外部からの誘導電界は、音声回路に悪影響を与えます。コンソール本体と電源ユニットも、できるだけ離して設置してください。
- 放熱が良い環境で使用してください。フライトケース等に収納して使用する場合は、通気スペースを充分に取ってください。その際、吸気口や排気口は絶対に塞がないでください。
- 電源ユニット－コンソール間のDCケーブルを延長する事はおやめ下さい。本来の性能を維持する事が出来なくなるだけでなく、故障の原因になります。

●信号レベルについて

各入出力信号の仕様をご確認の上、以下の点に注意して接続を行ってください。

- コンソールへ接続する入力信号が、適切なレベルのものかどうか確認してください。S/N 比等の特性を悪化させる原因となります。
- バランス入力に同相信号や高周波信号を入力しないで下さい。また、出力コネクタに信号を入力することも避けてください。
- アンバランス型マイクロホンや、電源内蔵のコンデンサ型マイクロホン、ダイレクト・ボックスをマイク入力に接続して 48V ファンタム電源を入れないでください。モジュールのみならず、マイク本体や外部機器を破損する危険があります。

■はじめに

●取扱説明書(本書)をお読みください。

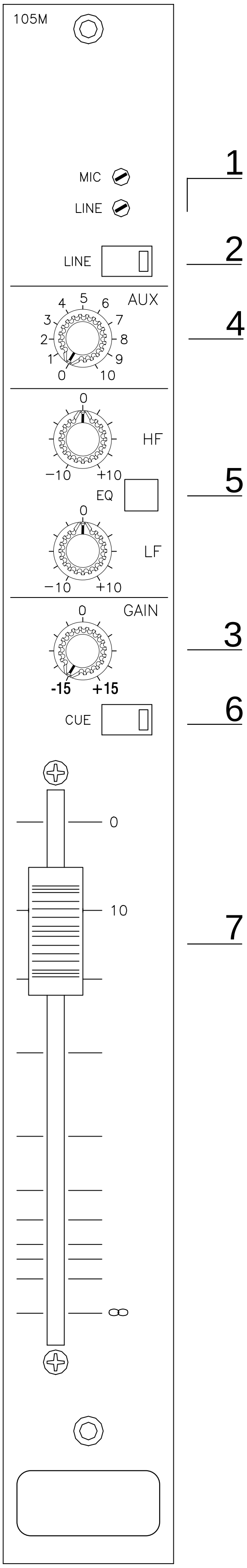
ご使用いただくまえに必ず本書をお読みください。内容をよくご理解された上で、正しくお使いください。

●保証書について

- 保証書は必ず「お買い上げ年月日」「お買上げ店名 / 所在地」の記入をご確認いただき、製品とともにお受け取りください。お買い上げ日より1年間は保証期間です。保証書記載事項に基づき、無償修理等を保証させていただきます。修理等はお買い上げの販売店かヒビノプロオーディオセールス Div. までご依頼ください。
- お買い上げ時に「お買い上げ年月日」「お買上げ店名 / 所在地」が正しく記入されていない場合は、保証書が無効になり、無償修理を受けられないことがあります。記載内容が不充分でしたら、速やかに販売店にお問い合わせください。
- 改造など通常の使用範囲を超えた取り扱いによる、設計製造以外の要因で起きた故障や不都合は、期間内であっても保証の対象外となります。

■目次

■各部の名称と機能



■モノ入力モジュール

入力セクション

マイクレベル、ラインレベルの 2 種類の入力を持っており、それぞれ、独立した XLR コネクタから入力します。マイク入力には +48V ファンタム電源を装備し、内部ジャンパにより ON/OFF を設定することが可能です。

1）マイク入力、ライン入力それぞれの、3）GAIN ポットの 0 位置での入力感度を設定します。調整する場合は、マイナスのミニチュアドライバを使用してください。

2）LINE スイッチを押すと、リアコネクタパネルのライン入力の信号が、ヘッドアンプに入力されます。

3）入力信号に対して、± 15dB の調整を行います。

AUX セクション

4）ポストフェーダの信号が、このポットを経由して AUX バスに送られます。

EQ セクション

5）2 バンドイコライザ。

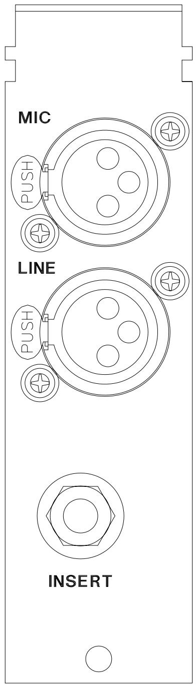
HF 8KHz ± 10dB

LF 180Hz ± 10dB

EQ スイッチを押すと有効になります。

検聴（CUE）

6）チャンネルフォーン出力、または、CUE スピーカで検聴できます。CUE スイッチをキャンセルする場合は、もう一度スイッチを押すか、チャンネルフェーダを上げてください。CUE スイッチは、フェーダが下がり切っていないと動作しません。



PGM MIX への出力

7）100mm ストロークのチャンネルフェーダです。突き上げ位置でユニティーゲインです。チャンネル信号は、このフェーダを経由して PGM MIX バスへ送られます。

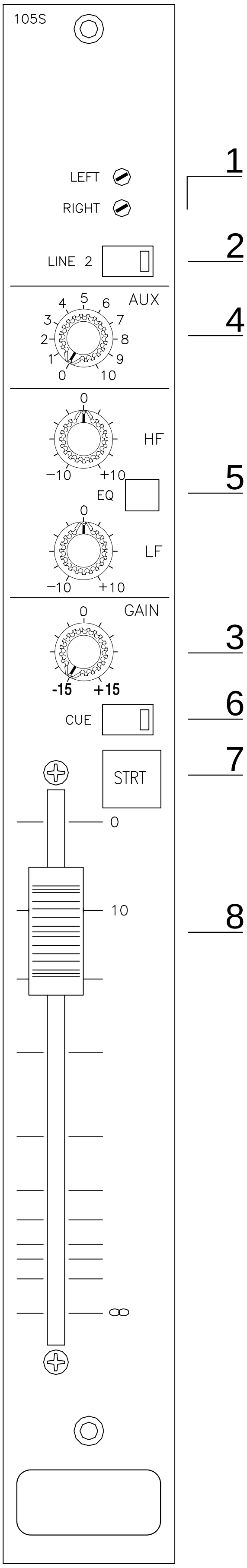
インサートポイント

プリフェーダ / プリトークバックの位置にインサートポイントがあります。外部機器は、リアコネクタパネルの3P フォーンジャックに接続します。Ring がセンド、Tip がリターンのアンバランスです。

トークバック

内部ジャンパ設定により、任意のモノ入力モジュールをトークバクマイク入力にすることが可能す。この機能に設定した場合、ポストEQ/ プリフェーダ信号がトークバックバスに送られます。

■ステレオ入力モジュール



入力セクション

2 系統のステレオライン入力が可能です。入力 1 は、リアコネクタパネルの XLR コネクタから、入力 2 は、D-sub コネクタから入力します。

1）L/R 入力別々に、3）GAIN ポットの 0 位置での入力感度を設定します。調整する場合は、マイナスのミニチュアドライバを使用してください。

2）LINE2 スイッチを押すと、入力 2 の信号がヘッドアンプに入力されます。

3）入力信号に対して、± 15dB の調整を行います

AUX セクション

4）ポストフェーダの信号が、このポットを経由して AUX バスに送られます。

EQ セクション

5）2 バンドイコライザ。

HF 6.5KHz ± 10dB

LF 60Hz ± 10dB

EQ スイッチを押すと有効になります。

検聴（CUE）

6）チャンネルフェーダを下げきっている時に CUE スイッチを押すと、プリフェーダ / ポスト EQ の信号をヘッドホン出力、または、CUE スピーカで検聴できます。CUE スイッチをキャンセルする場合は、もう一度スイッチ押すか、チャンネルフェーダを上げてください。CUE スイッチは、フェーダが下がり切っていないと動作しません。また、内部ジャンパ設定により、このスイッチを押すと、外部機器のリモートスタートも可能です。

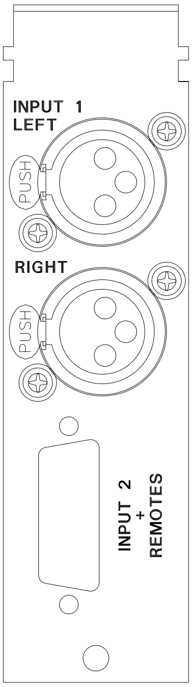
7）STRT（スタート）スイッチを押すことで、外部機器のリモートスタートが可能です。RM105 では、スタートコマンドのメイクを STRT スイッチのみ、またはチャンネルフェーダと STRT スイッチの両方を使うかのどちらかを、内部ジャンパで設定することが可能です。

スタートコマンドのメイクを STRT スイッチのみで行う。

チャンネルフェーダを上げると、STRT スイッチの LED が半点灯します。そして、STRT スイッチを押すと、LED が完全点灯し、スタートコマンドがメイクされます。

スタートコマンドのメイクをチャンネルフェーダと STRT スイッチ両方で行う。

チャンネルフェーダを上げる前に、STRT スイッチを押します。この時 LED が半点灯します。チャンネルフェーダを上げると LED が完全点灯し、スタートコマンドがメイクされます。STRT スイッチを押さずにチャンネルフェーダを上げても、スタートコマンドはメイ



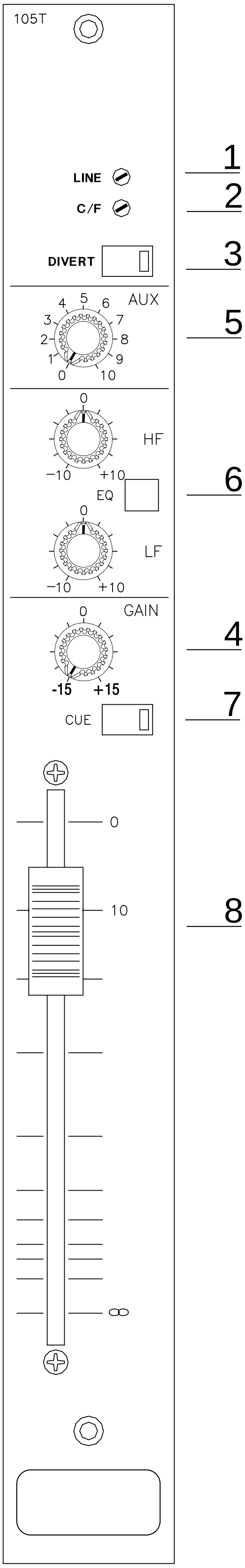
クされません。スタートコマンドは、ラッチ動作かモーメンタリ動作のどちらかを、内部ジャンパで設定することが可能です。ストップコマンドは、モーメンタリ動作のみです。

PGM MIX への出力

8）100mm ストロークのステレオチャンネルフェーダです。突き上げ位置でユニティーゲインです。チャンネル信号は、このフェーダを経由して PGM MIX バスへ送られます。

外部リモート

リアコネクタパネルの D-sub からフェーダスタート / ストップコントロールを行います。入力 1/ 入力 2 それぞれ独立して、別々に接続ができます。



■ Telco 入力モジュール

入力セクション

このモジュールは、外部テレホンハイブリッド（オプション）を経由して電話回線と接続するためのものです。

1）外部テレホンハイブリッド入力の、3）GAIN ポットの 0 位置での入力感度を設定します。調整する場合は、マイナスのミニチュアドライバを使用してください。入力は、リアコネクタパネルの LINE（XLR コネクタ）から行います。

2）クリーンフィード出力（マイナスワン信号）レベルの微調整を行います。調整する場合は、マイナスのミニチュアドライバを使用してください。出力は、リアコネクタパネルの C/F（XLR コネクタ）から行います。

3）DIVERT スイッチを押すと、D-sub コネクタ（リアコネクタパネル）のクローズコンタクト / オープンコンタクトがそれぞれメイクします。これは、外部テレホンハイブリッドと電話機の切り替え用のコンタクトリレー出力です。この機能を充分に活用するためには、テレホンハイブリッドの取り扱い説明書を良くお読みください。

4）入力信号に対して、± 15dB の調整を行います。

AUX セクション

5）ポストフェーダの信号が、このポットを経由して AUX バスに送られます。

EQ セクション

6）2 バンドイコライザ。

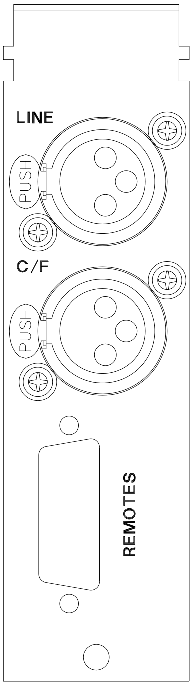
HF 8KHz ± 10dB

LF 180Hz ± 10dB

EQ スイッチを押すと有効になります。

検聴（CUE）

7）チャンネルフェーダを下げきっている時に CUE スイッチを押すと、プリフェーダ / ポスト EQ の信号をヘッドフォーン出力、または、CUE スピーカで検聴できます。また、このスイッチを押すと、トークバック信号がクリーンフィード出力に送られます。こうすることで、オフエアーでの電話先の相手とのコミュニケーションが可能になります。CUE スイッチをキャンセルする場合は、もう一度スイッチを押すか、チャンネルフェーダを上げてください。CUE スイッチは、フェーダが下がり切っていないと動作しません。

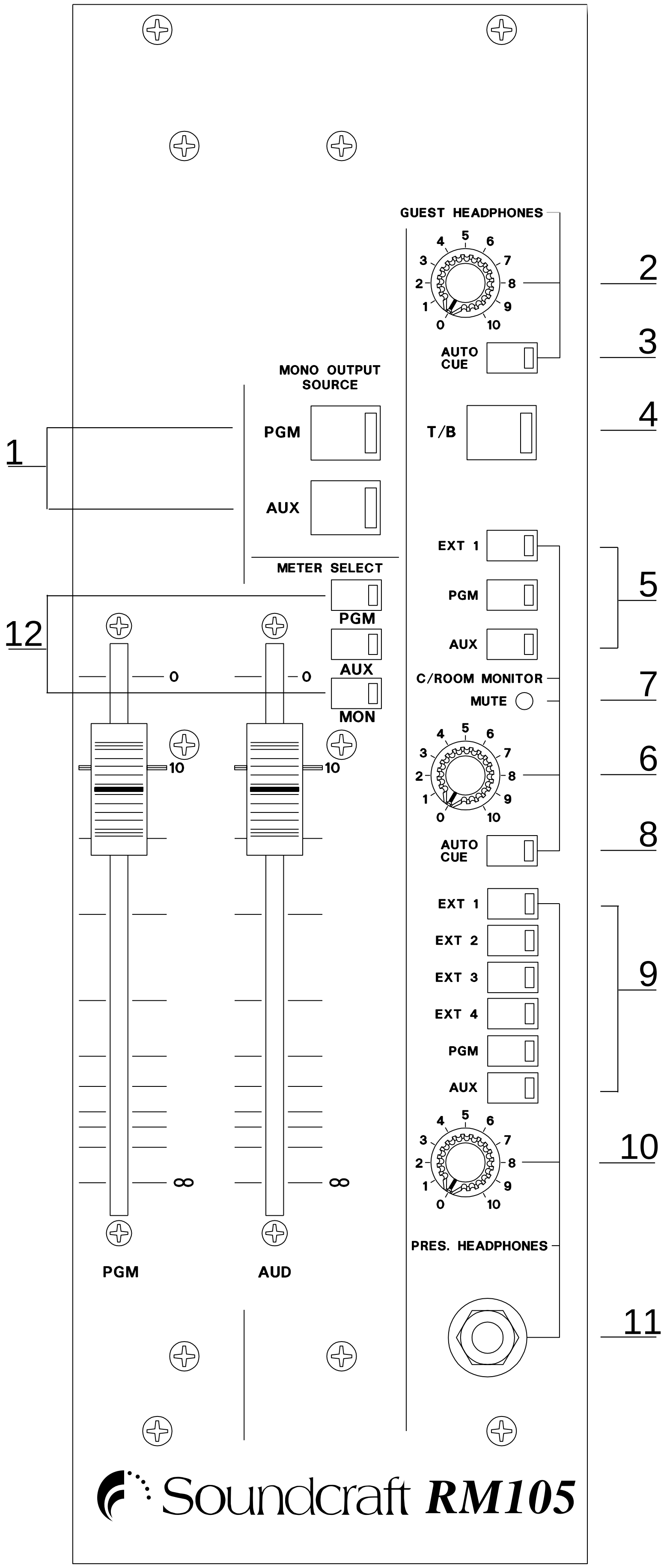


PGM MIX への出力

8）100mm ストロークのチャンネルフェーダです。突き上げ位置でユニティーゲインです。チャンネル信号は、このフェーダを経由して PGM MIX バスへ送られます。

インサートポイント

GAINポット直後の位置にインサートポイントがあります。外部機器は、D-sub コネクタ（リアコネクタパネル）に接続します。



GUEST HEADPHONES
AUTO CUE
MONO OUTPUT SOURCE
PGM
AUX
T/B
EXT 1
PGM
AUX
METER SELECT
PGM
AUX
MON
C/ROOM MONITOR
MUTE
AUTO CUE
EXT 1
EXT 2
EXT 3
EXT 4
PGM
AUX
PRES. HEADPHONES
PGM
AUD
Soundcraft RM105
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

■マスタモジュール

メイン出力

メイン出力には、PGM（プログラム）出力、AUX 出力、およびこれらのどちらか選択されたモノ出力（モノラルサミング信号）の 3 種類から構成されています。PGM出力/AUX出力ともフェーダ突き上げ位置でユニティーゲイン（0dBu）ですが、AUX 出力のみ、内部ジャンパ設定により、-10dBv にすることも可能です。

エクスターナル入力

リアコネクタパネルのD-subコネクタから、4系統のステレオソースを入力することができます。入力 1/2 は、バランス（入力感度 0dBu）、入力 3/4 は、アンバランス（入力感度 -10dBv）です。

モノ出力

1）モノ出力へ、PGM/AUX のどちらのモノサミング信号を送るかを選択します。

モニタリング

モニタリングソースは、GUEST HEADPHONES（ゲスト・ヘッドフォーン）、CONTROL ROOM MONITORS（コントロールルーム・モニタ）、PRESENTER'S HEADPHONES（プレゼンタ・ヘッドフォーン）にそれぞれ独立して送られます。

GUEST HEADPHONES（ゲスト・ヘッドフォーン）

2）ゲスト・ヘッドフォーンのレベルを調整します。通常は、PGM 信号が出力されます。

3）このスイッチがオンになっていると、入力モジュールのCUEスイッチを押すとPGM 信号に上書きして CUE 信号がヘッドフォーンに出力されます。CUE スイッチをはなすと、自動的に PGM 信号に戻ります。

4）このスイッチを押すと、トークバック信号が PGM 信号に上書きして出力されます。スイッチをはなせば、自動的に PGM 信号に戻ります。

CONTROL ROOM MONITORS（コントロールルーム・モニタ）

5）コントロールルーム・モニタのソースを選択します。エクスターナル 1、PGM、AUX から選ぶことができます。

6）コントロールルーム・モニタのレベルを調整します。アンバランス出力です。

7）コントロールルーム・モニタは、モノ入力モジュールがマイク入力の時にチャンネルフェーダを上げると、自動的にミュートがかかります。この時、MUTE LED が点灯して「MIC LIVE」であることを表示します。また、D-sub コネクタに 2 系統のコンタクトを持っていますので、オプションの外部キューランプなどをコントロールすることができます。

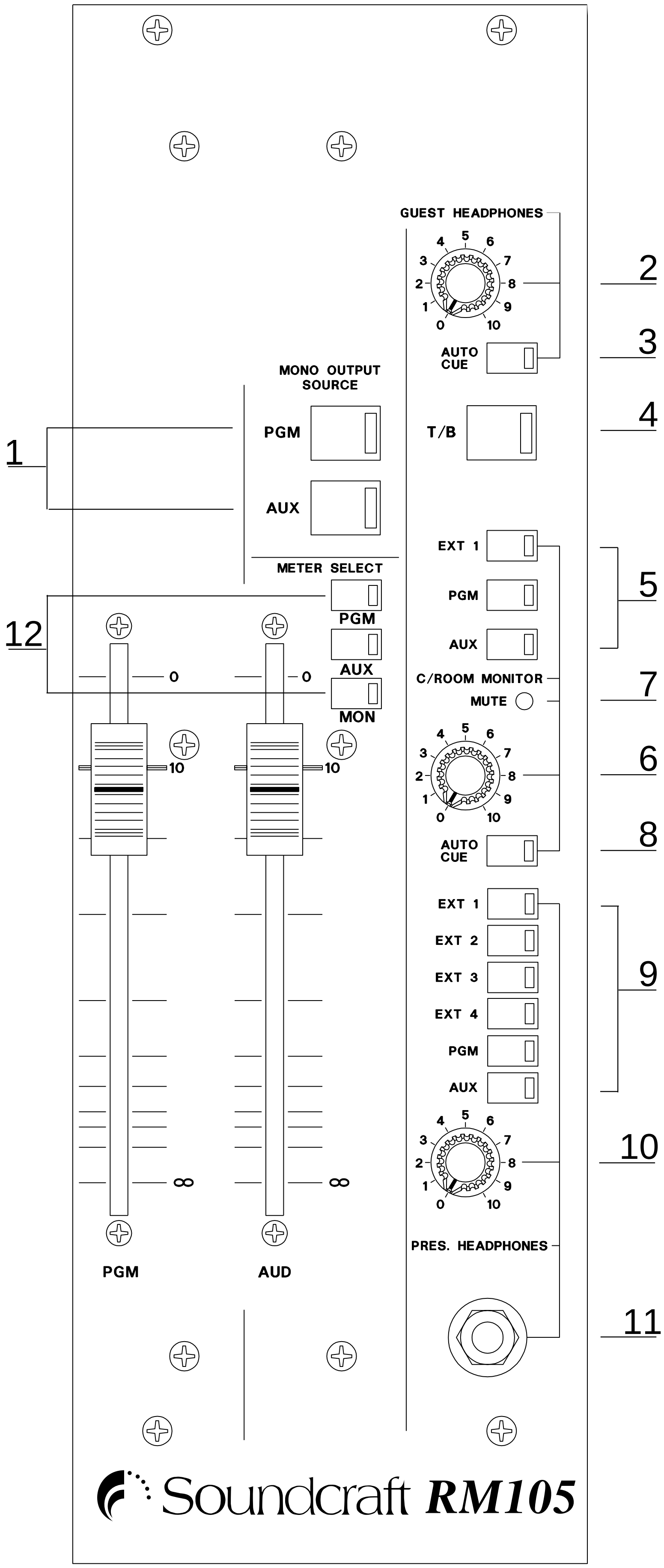
8）このスイッチがオンになっていると、入力モジュールのCUEスイッチを押すとPGM 信号に上書きして CUE 信号がコントロールルーム・モニタに出力されます。CUE スイッチをはなすと、自動的に PGM 信号に戻ります。

PRESENTER'S HEADPHONES（プレゼンタ・ヘッドフォーン）

この出力と CUE スピーカには、入力モジュールの CUE スイッチを押すと PGM 信号に上書きして CUE 信号が自動的に出力されます。

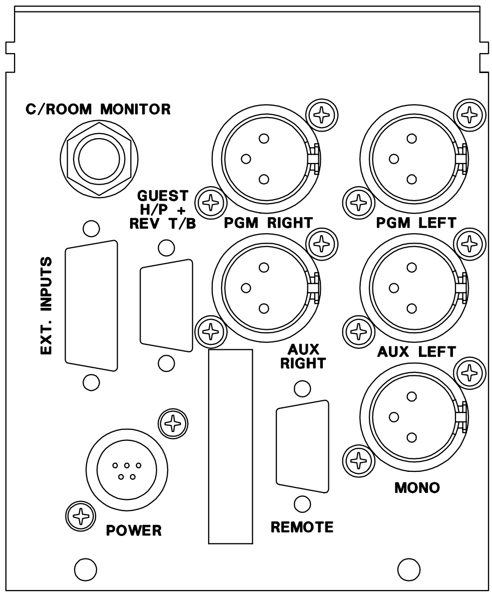
9）プレゼンタ・ヘッドフォーンのソースを選択します。エクスターナル 1 ～ 4、PGM、AUX の 6 種類から選択できます。

10）プレゼンタ・ヘッドフォーンのレベルを調整します。

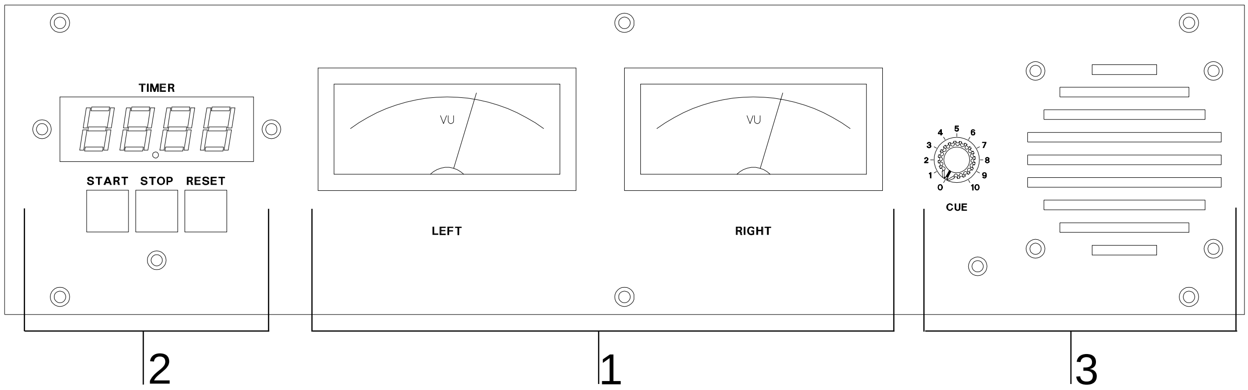

GUEST HEADPHONES
AUTO CUE
MONO OUTPUT SOURCE
PGM
AUX
T/B
EXT 1
PGM
AUX
METER SELECT
PGM
AUX
MON
C/ROOM MONITOR
MUTE
AUTO CUE
EXT 1
EXT 2
EXT 3
EXT 4
PGM
AUX
PRES. HEADPHONES
PGM
AUD
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
Soundcraft RM105

11）プレゼンタ・ヘッドフォーン出力用フォーンジャックコネクタ。

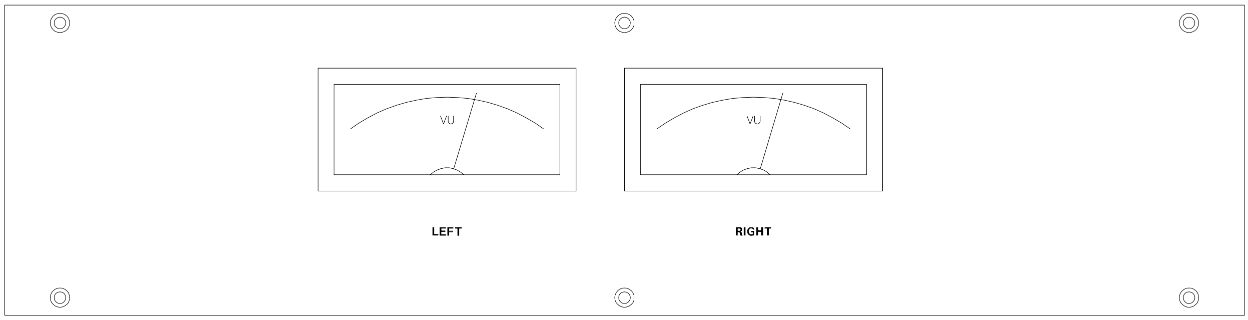
12）VU メータ L/R にどのソースを表示するかを選択します。PGM、AUX、コントロールルーム・モニタソースから選べます。20chフレーム用のメータパネルのみ、2 組の VU メータが装備されています。この場合、1 組は PGM 専用で、もう 1 組は、このスイッチで選択されたソースが表示されます。



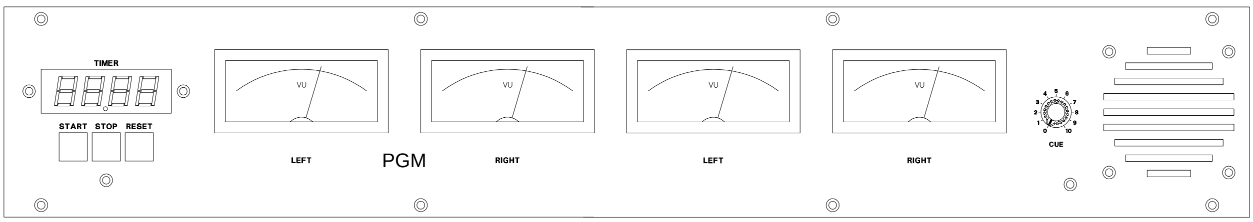
デラックスメータパネル



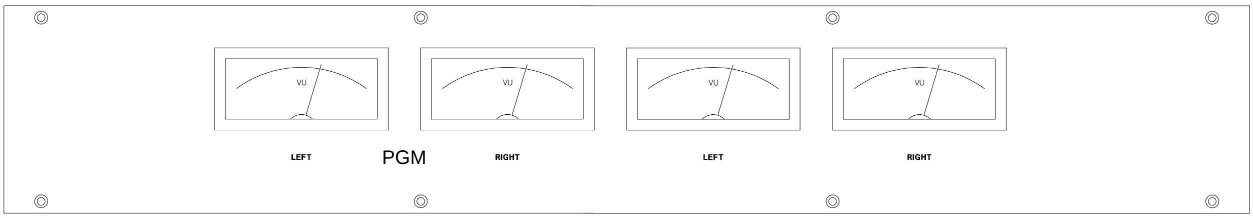
標準メータパネル



20ch フレーム用デラックスメータパネル



20ch フレーム用標準メータパネル



■メータブリッジ

RM105には、標準とデラックスの2種類のメータパネルが用意されています。標準メータパネルはVUメータのみ、デラックスメータパネルには、VUメータ以外にタイマーユニットとCUEスピーカが搭載されています。20chフレーム用のメータパネルのみ、PGM専用とモニタ用（マスタモジュールのメータセレクトスイッチで選択されたソース）の2組のVUメータが装備されています。

1）マスタモジュールのメータセレクトスイッチで選択されたソースのレベルを表示します。

2）タイマーユニット。このタイマーは、3種類の動作を選択できます。

マシンタイマー

内部ジャンパで設定されたステレオ入力モジュールのどれかひとつのフェーダを上げると、自動的にスタートします。下げきるとストップし、再び上げるとリセットスタートします。

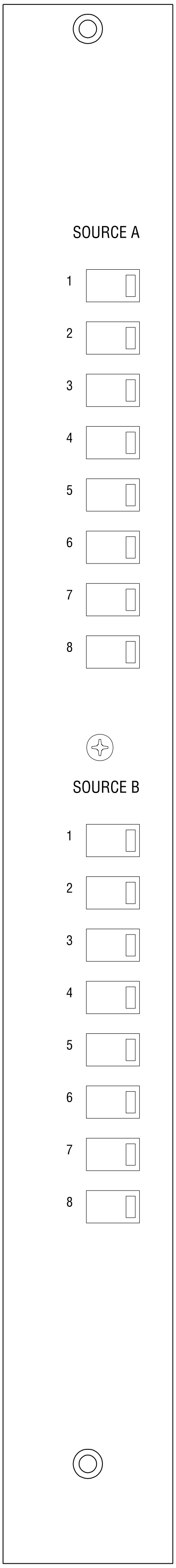
マイクタイマー

モノ入力モジュールでマイク入力が選択されている時、フェーダを上げると自動的にスタートします。下げきるとストップし、再び上げるとリセットスタートします。この場合、すべてのフェーダを下げきらないとストップしません。

マニュアルタイマー

メータパネル上のスイッチ（START、STOP、RESET）のみで作動します。

3）CUEスピーカ。検聴信号をこのスピーカで聞くことができます。また、LEVELポットでボリュームを調整します。

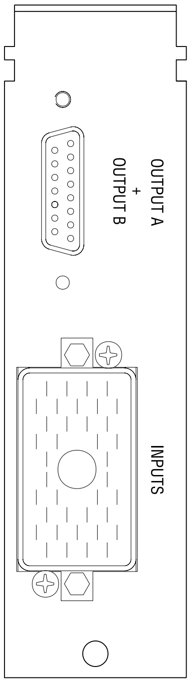


■ステレオソースセレクトモジュール

このモジュールは、リアコネクタパネルの 38Way EDAC コネクタから 8 系統のステレオソースを入力し、リアコネクタパネルのD-subコネクタから出力する機能を持ったものです。モジュール上のSOURCE A/SOURCE Bのそれぞれのスイッチで選択して、2 系統のステレオソースを出力します。

◎ EDAC コネクタピン配

ピン番号	信号	ピン番号	信号
A	1L+	LL	n/c
B	1L-	MM	7R+
C	1R+	NN	7R-
D	1R-	PP	8L+
E	2L+	RR	8L-
F	2L-	SS	8R+
H	n/c	TT	8R-
J	2R+		
K	2R-		
L	3L+		
M	3L-		
N	3R+		
P	3R-		
R	4L+		
S	4L-		
T	4R+		
U	4R-		
V	シャーシグラウンド		
W	シャーシグラウンド		
X	シャーシグラウンド		
Y	シャーシグラウンド		
Z	5L+		
AA	5L-		
BB	5R+		
CC	5R-		
DD	6L+		
EE	6L-		
FF	6R+		
HH	6R-		
JJ	7L+		
KK	7L-		



◎ D-sub15 ピン配

ピン番号	信号	ピン番	信号
1	シャーシグラウンド	9	SOURCE A L+
2	SOURCE A L-	10	n/c
3	n/c	11	SOURCE A R+
4	SOURCE A R-	12	n/c
5	n/c	13	SOURCE B L+
6	SOURCE B L-	14	n/c
7	n/c	15	SOURCE B R+
8	SOURCE B R-		

■ジャンパ設定

モノ入力モジュール

◎ J1- ファンタム電源（+48V、マイク入力のみに有効）

ピン 1 とピン 2 をリンクする .... ON

ピン 2 とピン 3 をリンクする .... OFF

◎ J2- マイク入力をトークバックマイクとして使う。

ピン 1 とピン 2 をリンクする .... YES

ピン 2 とピン 3 をリンクする .... NO

ステレオ入力モジュール

- クローズド = ジャンパピンを差し込む。
- オープン = ジャンパピンを差し込まない。

◎ J1- スタートリレーを CUE スイッチでメイクさせる。

クローズド .... 有効

オープン .... 無効

J2 と J3 は、つねにペアで設定します。

◎ J2	J3	
クローズド	クローズド	スタートリレーをモーメンタリ動作で STRT スイッチのみでメイクさせる。
オープン	クローズド	スタートリレーをラッチ動作で STRT スイッチとフェーダでメイクさせる。
オープン	オープン	スタートリレーをモーメンタリ動作でSTRTスイッチとフェーダでメイクさせる。

◎ J4- フェーダ UP 時に、タイマーと連動させる。ただし、J2、J3 の組み合わせで、フェーダが有効の場合のみに動作します。

クローズド .... 有効

オープン .... 無効

Telco 入力モジュール

◎ J1- インサートポイント

ピン 1 とピン 2 をリンクする .... 無効

ピン 2 とピン 3 をリンクする .... 有効

マスタモジュール

PGM 出力は、0dBu で固定です。AUX のみの設定となります。

◎ J1- フェーダー突き上げ目盛り 0 の位置での AUX 出力のゲイン値設定

ポジション A 0dBu

ポジション B .... -10dBv

タイマー

◎マイクタイマー（モノインプットフェーダのみに連動）

フェーダ UP でタイマーがスタート、絞りきりでストップ。ふたたびフェーダ UP で、リセットスタート。

J1/J2 .... それぞれのピン 1 とピン 2 をリンクする。

◎マシンタイマー（ステレオインプットフェーダのみに連動）

フェーダでタイマーをストップすることはできません。タイマーのSTOPスイッチを押してください。フェーダUPでタイマーがスタート、絞りきってふたたびフェーダ UP で、リセットスタート。

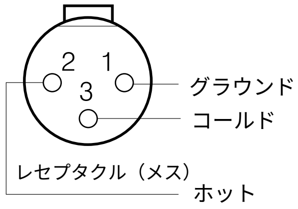
J1/J2 .... それぞれのピン 2 とピン 3 をリンクする。

◎マニュアルタイマー（メータパネル上のスイッチのみで操作）

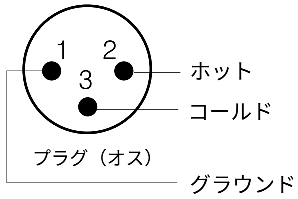
J1 のピン 1 とピン 2 のみをリンクさせ、J2 はリンクしない。

■ XLR コネクタ＆ 3P フォーンプラグ

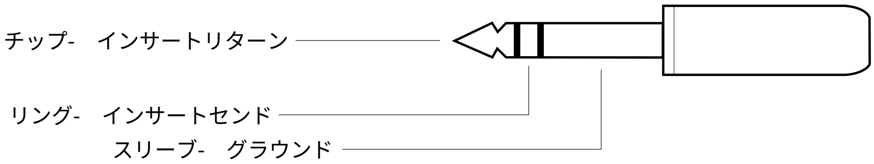
マイク入力、ライン入力



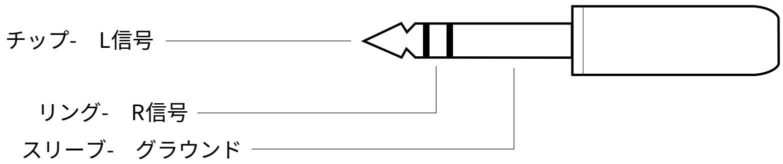
PGM出力、AUX出力、
クリーンフィード出力



3Pフォーンプラグ：モノ入力モジュールのインサートセンド/リターン



3Pフォーンプラグ：ヘッドフォーン出力、コントロールルーム・モニタ出力



■ D-sub コネクタ

ステレオ入力モジュール

Input2+Remotes（D-sub15 ピン）

ピン 1、7、14 ------ シャーシグラウンド
ピン 2、9 ------------- マシン 1 スタート
ピン 3、10 ----------- マシン 1 ストップ
ピン 4、11 ----------- マシン 2 スタート
ピン 5、12 ----------- マシン 2 ストップ
ピン 6、13 ----------- 入力 2R-/+
ピン 8、15 ----------- 入力 2L-/+

Telco 入力モジュール

Remotes（D-sub15 ピン）

ピン 1 ----------------- シャーシグラウンド
ピン 2 ----------------- Divert ノーマルクローズ
ピン 3 ----------------- Divert ノーマルオープン
ピン 9、10 ----------- Divert コモン
ピン 8 ----------------- インサートリターン
ピン 15 --------------- インサートセンド
ピン 7、14 ----------- 音声信号グラウンド
ピン 4、5、6、11、12、13 ------ n/c

マスタモジュール

External Input（D-sub15 ピン）

ピン 1 ----------------- シャーシグラウンド
ピン 2 ----------------- エクスターナル入力 1L+
ピン 3 ----------------- エクスターナル入力 1R+
ピン 4 ----------------- エクスターナル入力 2L+
ピン 5 ----------------- エクスターナル入力 2R+
ピン 6 ----------------- 音声信号グラウンド
ピン 7 ----------------- エクスターナル入力 3L
ピン 8 ----------------- エクスターナル入力 3R
ピン 9 ----------------- エクスターナル入力 1L-
ピン 10 --------------- エクスターナル入力 1R-
ピン 11 --------------- エクスターナル入力 2L-
ピン 12 --------------- エクスターナル入力 2R-
ピン 13 ---------------- 音声信号グラウンド
ピン 14 ---------------- エクスターナル入力 4L
ピン 15 ---------------- エクスターナル入力 4R

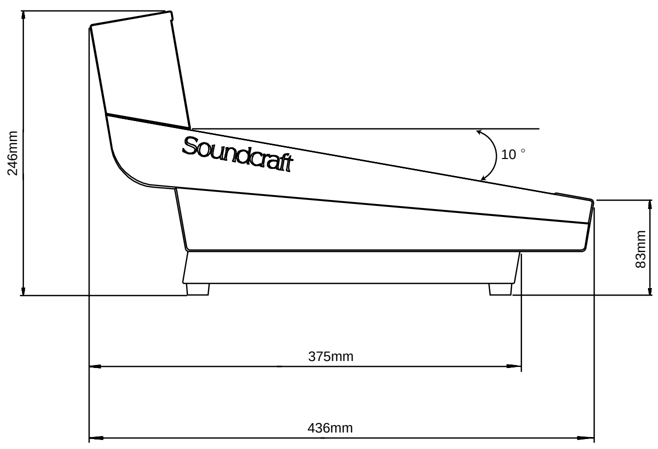
Remotes（D-sub9 ピン）

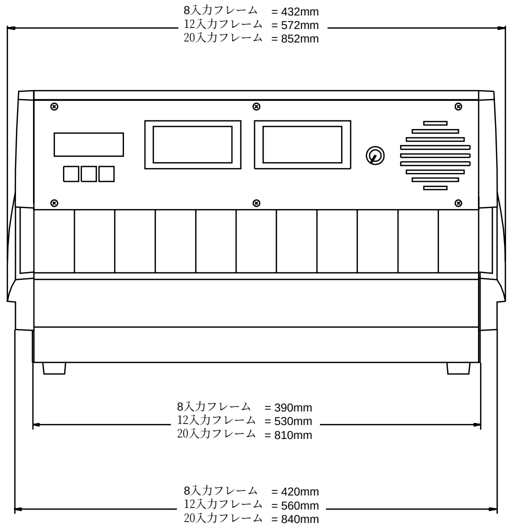
ピン 1 ----------------- コントロールルームミュートコンタクト 1 コモン
ピン 2 ----------------- コントロールルームミュートコンタクト 1 ノーマルオープン
ピン 3 ----------------- コントロールルームミュートコンタクト 2 コモン
ピン 4 ----------------- コントロールルームミュートコンタクト 2 ノーマルオープン
ピン 5 ----------------- n/c
ピン 6 ----------------- n/c
ピン 7 ----------------- n/c
ピン 8 ----------------- n/c
ピン 9 ----------------- n/c

Guest H/P+Rev T/B（D-sub9 ピン）

ピン 1 ----------------- シャーシグラウンド
ピン 2 ----------------- ヘッドフォーングラウンド
ピン 3 ----------------- ゲストヘッドフォーン Lch 出力
ピン 4 ----------------- ヘッドフォーングラウンド
ピン 5 ----------------- ゲストヘッドフォーン Rch 出力
ピン 6 ----------------- 音声信号グラウンド
ピン 7 ----------------- リバーストークバック入力（0dB）
ピン 8 ----------------- リバーストークバックコントロール（ピン 6 とショートで有効）
ピン 9 ----------------- n/c

■本体外形寸法図


246mm
Soundcraft
10 °
83mm
375mm
436mm


8入力フレーム = 432mm
12入力フレーム = 572mm
20入力フレーム = 852mm
8入力フレーム = 390mm
12入力フレーム = 530mm
20入力フレーム = 810mm
8入力フレーム = 420mm
12入力フレーム = 560mm
20入力フレーム = 840mm

■仕様（スペック）

●周波数特性

モノ入力から PGM 出力 .... 20Hz ～ 20KHz/+0/-1dB

ステレオ入力から PGM 出力 .... 20Hz ～ 20KHz/+0/-1dB

● THD

0.02%以下 /40Hz ～ 20kHz

●入出力インピーダンス

マイク入力 ....2.2K Ω

モノライン入力 ....20K Ω

ステレオライン入力 ....40K Ω

Telco 入力 ....40K Ω

出力 ....75 Ω以下

●入出力レベル

マイク入力（XLR）... -70 ～ -20dBu

ライン入力（XLR）...-30 ～ +6dBu

Telco 入力（XLR）...-10 ～ +4dBu

インサートセンド ....-10dBu

インサートリターン ....-10dBu

●許容最大出力レベル

クリーンフィード /PGM/AUX/ モノ各出力 .... +26dBu/600 Ω時

インサートセンド ....+20dBu

●クロストーク（10KHz）

-75dB 以下

●クリーンフィードリジェクション比

40Hz/-46dB 以下

1KHz/-65dB 以下

15KHz/-60dB 以下

●イコライザ / フィルタ

モノ入力モジュール

HF

周波数 8kHz

ゲイン ....± 10dB

LF

周波数 **180Hz**

ゲイン .... **± 10dB**

ステレオ入力モジュール

HF

周波数 **6.5kHz**

ゲイン .... **± 10dB**

LF

周波数 **60Hz**

ゲイン .... **± 10dB**

Telco 入力モジュール

HF

周波数 **8kHz**

ゲイン .... **± 10dB**

LF

周波数 **180Hz**

ゲイン .... **± 10dB**

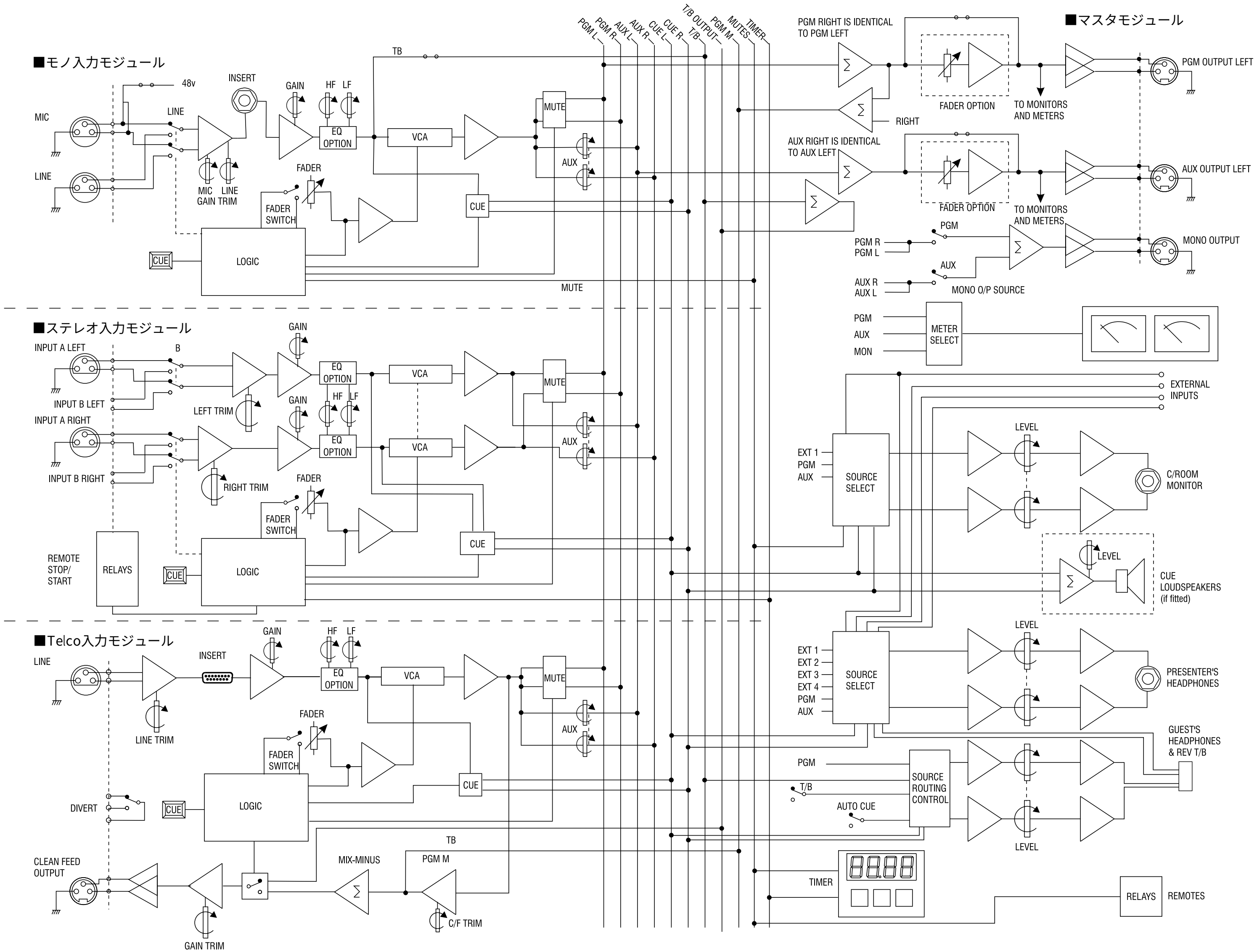
●電源部（CPS150 電源ユニット）

電源 .... **AC100V、50/60Hz、最大消費電力 160W**

動作温度範囲 .... **-10° C ～ +50° C**

電源本体重量 .... **4Kg（本体のみ）**

■ブロックダイヤグラム


■モノ入力モジュール
■ステレオ入力モジュール
■Telco入力モジュール
■マスタモジュール
MIC
LINE
48v
INSERT
GAIN
HF
LF
EQ OPTION
VCA
MUTE
AUX
CUE
FADER
FADER SWITCH
LOGIC
MIC GAIN TRIM
LINE
TB
MUTE
INPUT A LEFT
INPUT B LEFT
INPUT A RIGHT
INPUT B RIGHT
B
LEFT TRIM
RIGHT TRIM
REMOTE STOP/ START
RELAYS
LINE TRIM
DIVERT
CLEAN FEED OUTPUT
GAIN TRIM
MIX-MINUS
PGM M
C/F TRIM
PGM L
PGM R
AUX L
AUX R
CUE L
CUE R
T/B
T/B OUTPUT
PGM M
MUTES
TIMER
PGM RIGHT IS IDENTICAL TO PGM LEFT
FADER OPTION
TO MONITORS AND METERS
RIGHT
PGM OUTPUT LEFT
AUX RIGHT IS IDENTICAL TO AUX LEFT
AUX OUTPUT LEFT
MONO OUTPUT
MONO O/P SOURCE
METER SELECT
MON
EXTERNAL INPUTS
EXT 1
EXT 2
EXT 3
EXT 4
SOURCE SELECT
LEVEL
C/ROOM MONITOR
CUE LOUDSPEAKERS (if fitted)
PRESENTER'S HEADPHONES
GUEST'S HEADPHONES & REV T/B
SOURCE ROUTING CONTROL
AUTO CUE
TIMER
REMOTES

■ MEMO

ヒビノ株式会社　ヒビノプロオーディオセールス Div.

http://www.hibino.co.jp/
E-mail: proaudiosales@hibino.co.jp

営業部
〒108-0075 東京都港区港南3-5-12
TEL: 03-5783-3110　FAX: 03-5783-3111

大阪ブランチ
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8
TEL: 06-6339-3890　FAX: 06-6339-3891

福岡ブランチ
〒812-0042 福岡県福岡市博多区豊1-5-24
TEL: 092-475-2555　FAX: 092-482-4535

北海道オフィス
〒063-0813 北海道札幌市西区琴似三条1-1-20
TEL: 011-640-6770　FAX: 011-640-6776